

定式を補正しました。
可給態窒素が目標値よりも高い場合は、可給態窒素の分析値から化学肥料（窒素肥料）の削減量を計算する「畑

可給態窒素とは、肥料とは別に土壌からゆっくりと作物に供給される窒素であり、地力窒素ともいわれ、土壌の肥沃（ひよく）度を示す指標の一つです。国が定める地力増進法の目標値は5リットル/100kg乾土（普通畑）です。目標値より低い場合は、堆肥の投入や緑肥の栽培などの土づくりが必要で、目標値より高い場合は、窒素施肥量の削減などが可能になります。

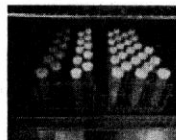
可給態窒素の分析は、従来は培養が必要なことから1カ月以上を要しましたが、国の研究機関である農研機構から2日で分析可能な簡易法（化学的酸素要求量（COD）からの推定法）が示されました。そこで、長崎県内の土壌サンプルを使って検証し、県内土壌にも対応できるように推

可給態窒素の目標値

2日で簡易分析可能 削減量はアプリ計算

土壌由来の可給態窒素見える化アプリ（QRコード参照）が誰でも簡単に使用できますので、ご活用ください。また、可給態窒素の簡易分析法の手順書も作成していますので、必要の際は各振興局、もしくは当センターにお尋ねください。

簡易分析法の手順



80°C16時間水抽出
(80°Cのお湯で16時間保温)



17:00~
翌09:00



食塩を加え沈殿させ、ろ過で濁りを取る



ろ液を希釈してCODバックテストでCOD値を色で判断



アプリのQRコード

（長崎県農林技術開発センター
環境研究部門土壌肥料研究室
主任研究員 平山裕介）